

# SDGsに対する 町長の認識は



月田 均



町長

### 為政者が常に持ち続けるべき観念

**質問** 持続可能な開発目標SDGsに対し町長はどのような考えをもっているか。

**町長** SDGsは2015年の国連サミットにおいて、国際社会全体の2030年までの持続可能な開発目標として採択されたものである。SDGsの考え方は、本町が既に実施している施策のほぼすべてに通じるものである。この「誰一人取り残さないで持続可能な社会をつくること」への取り組みは、今後の地方公共団体の運営に当たり、私たち為政者が常に持ち続けるべき観念であると認識している。町の施策や事業において、この考え方を積極的に取り入れ、社会的役割を果たしつつ、持続可能なまちづくりを推進していきたい。



SDGs(持続可能な開発目標)のバッジ

**県下一高い介護保険料について問う**

**質問** 県下で一番高い介護保険料について、どのように考えるか。

**町長** 介護給付費は、市町村ごとに介護利用実績額と将来の利用人口から介護利用状況を推測して算出している。この介護給付費の2分の1を介護保険料で負担し、そのうち約半分を65歳以上の第1号被保険者の保険料で賄うことになっているため、介護利用の実績が保険料に反映していると言える。今後も介護予防等に取り組み、保険料の上昇を抑制するよう努めていく。

**この10年間の介護保険料の伸びが1・8倍と非常に高い。改善のため何が必要か。**

**健康福祉課長** ふれあいの居場所や筋トレ等の予防に積極的に参加し、高齢者が自立していることと地域のこ

コミュニティの構築が大切と考える。

**避難所でのペットの受け入れは**

**質問** 自治体によっては獣医師会の協力を得るなりして、ペット受け入れを許可しているところがある。町の対応は。

**町長** ペットを受け入れるには、ペットのなき声や臭い、他の避難者に危害を与えないかを考慮しなければならぬ。今後、国のガイドライン等を基に同行避難に関する研究を進めたい。

**こんな質問もしています**

- ・国土交通省管轄の利根川・烏川の河川改修について
- ・胃がん対策としてピロリ菌検査を実施できないか
- ・玉村町ホームページ変更のコンセプトは

# 障がい者支援の 課題と取り組みは



久保留美子



町長

### 地域の実情に応じた体制をつくる

**質問** 町は第5期玉村町障害福祉計画・第1期玉村町障害児福祉計画を策定し、数値目標と確保方を定めているが、その進捗状況は。

**町長** 数値目標については、4期計画と平成29年度までの利用実績を踏まえ、自立支援給付量のほか、児童発達支援等の障害児支援、地域生活支援事業の実施に関する事項等について定めている。利用者は年々増加傾向にあり、令和2年度の玉村町障がい者総合支援協議会において、総合的な評価に基づき、関係各機関と目標達成に向けた検討を実施する予定である。

**質問** 玉村町障がい者(児)基幹相談支援センターが設置されたが、相談支援体制は十分機能しているか。

**町長** 基幹相談支援センターは、地域生活支援拠点事業等の8事業を実施し、緊

急時に備え、24時間365日、電話対応を受け付ける体制も整えている。昨年度は年間約6700件以上の相談を受けており、相談支援体制は機能していると認識している。

**福祉の社会資源は適切に行き届いているか。**

**町長** 玉村町地域生活支援拠点を整備し、さまざまな支援を提供している。また、障がい者総合支援協議会で支援の対象となりそうな方の把握を行っている。常時・緊急時のいづれも対応できる体制を整えつつある。

**いつでも気軽に立ち寄れる障がい者の居場所づくり**

**健康福祉課長** 現在障がい者に特化した居場所はできていないが、今後、障がい者総合支援協議会で居場所の整備についても協議してもらうよう働きかけていきたい。

**今後の課題と取り組みはどうか。**

**町長** 強化が課題である。障がい者総合支援協議会を中心に、地域の実情に応じた整備を構築するため、各関係機関と連携を図り、体制づくりの推進に努めていく。



幸せがいっぱいの地域づくりを



相談支援センター